

ケア・スピリット論Ⅱ（看護倫理のあり方）

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・石井真紀子

科目担当者（職位・氏名）：教授・濱中喜代、教授・三浦靖彦

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：52

■ 授業概要

ケア・スピリットと看護職者が備えるべき倫理を密接にかかわりあうものと理解したうえで、看護における倫理的概念を学修し、事例演習を通して患者の人権を尊重する態度、倫理的判断能力を修得させる。

■ 到達目標

1. 生命倫理および倫理原則について説明ができる。
2. 看護倫理を学ぶ意義および倫理的な責務について説明できる。
3. 看護における倫理的概念およびケア・スピリットについて説明できる。
4. 倫理的な意思決定のあり方について説明できる。
5. 事例演習（PBL）での意見交換を通して、倫理的判断について学びを深めることができる。

■ 教育内容

基礎看護学

■ キーワード

ケア・スピリット、生命倫理、倫理原則、意思決定、インフォームドコンセント、コンパッション、ケアリング、アドボカシー、パートナーリズム、倫理的判断能力

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	倫理について 倫理原則とケアの倫理	倫理とは、人間関係と社会（個人倫理・社会倫理・専門職倫理）、行動の構造と倫理的評価、倫理的姿勢と倫理原則、徳の倫理、ケアの倫理（講義）	石井
2	看護倫理および看護倫理を学ぶ意義と看護職の社会における倫理的な責務	看護倫理の基礎、歴史的推移、専門職とは、看護師の職業意識と倫理、看護職の責任、など（講義）	石井
3	臨床倫理の原則、患者の声を聞く	臨床倫理の4原則(Beauchamp & Childress)、清水の3原則、原則の落とし穴を知る	三浦
4	意思決定支援の在り方、アドバンス・ケア・プランニングへの関わり方	意思決定支援とは何か？アドバンス・ケア・プランニングとは何かを知り、どう関わるかを考える	三浦
5	臨床倫理的症例検討方法	Jonsenの4分割表を使って、「患者と家族にとっての最善」を探索する（講義・GW）	三浦
6	ケア・スピリット	ケア・スピリットとは ケア・スピリットと看護倫理 （講義・GW）	石井
7	看護における倫理的概念1	コンパッションとケアリング（講義・GW）	濱中
8	看護における倫理的概念2	アドボカシーとパートナーリズム（講義・GW）	濱中
9	看護における倫理的概念3	インフォームドコンセントと守秘義務 （講義）	石井
10	倫理的な意思決定のあり方	意思決定プロセス・意志決定支援・看護職の意思決定のあり方、臨床倫理検討シート（講義） 事例1の紹介	石井
11	倫理的な意思決定の事例検討 （事例1-1）	事例1を理解する グループで検討する（PBL学習法）	石井 濱中

12	倫理的意味決定の事例検討 (事例 1-2)	事例 1 についての検討結果の発表・講評 事例 1 を検討した結果、出てきた問題についての補足、臨床倫理検討シートの修正、提出 事例 2 の紹介	石井 濱中
13	倫理的意味決定の事例検討 (事例 2-1)	事例 2 を理解する グループで検討する (PBL 学習法)	石井 濱中
14	倫理的意味決定の事例検討 (事例 2-2)	事例 2 についての検討結果の発表・講評 事例 2 を検討した結果、出てきた問題についての補足、臨床倫理検討シートの修正、提出	石井 濱中
15	まとめ	講義・事例検討を行って看護倫理について考えたこと (GW) レポート課題の提示	石井 濱中

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

事例検討個人ワークの成果と最終レポート 100%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・授業中に提示する質問への解答（Classroom 使用）については、次の授業時に解説を行う。

■ 教科書

- ・堂園俊彦・竹下啓：神谷恵子・長尾式子・三浦靖彦（2024）『倫理コンサルテーションハンドブック第2版』医歯薬出版株式会社
- ・清水哲郎著（2022）『医療・ケア従事者のための哲学・倫理学・死生学』医学書院
- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版（関係箇所を適宜参照する）

■ 参考書・参考資料等

- ・日本看護協会（2021）『看護者の倫理綱領』
- ・国際看護協会（2021）『ICN 看護師の倫理綱領』
- ・小西恵美子編（2021）『看護倫理 改訂第3版 よい看護・よい看護師への道しるべ』南江堂

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業1コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ90分程度必要とする。
- ・授業前後の学習は Classroom に掲示し、授業時に指示する。シラバスに則って授業に先立ち教科書の該当箇所等を提示するので、そこを予習し、授業後には教科書の復習および授業中に示された質問等の課題に対応する。

■ 担当教員からのメッセージ

ケア・スピリットは看護職を目指す皆さんに備えて欲しい姿勢（考え方）であり、それが本学の方針です。ケア・スピリットとは、倫理とは、ケア・スピリットと倫理はどのような関係にあるのか、についてこの授業を通して学んでください。

そして、ケア・スピリットと密接にかかわりのある倫理的態度や倫理的判断能力を磨くには様々な意見を聞き、仲間と討議することも必要です。積極的な態度での学修を期待します。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

濱中：学長室、hamanaka★iwate-uhms.ac.jp

三浦：臨床倫理研究センター長室、miura★iwate-uhms.ac.jp

石井：研究室 8、ishii★iwate-uhms.ac.jp

オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

臨床での看護師の経験を活かし、ケア・スピリットと看護における倫理的な考え方について、実践的な講義や演習を行います。